

# 第80回山陽新聞賞・奨励賞

## 喜びの受賞者

13日、岡山市内で開かれた第80回山陽新聞賞の贈呈式。文化功労3人、社会、教育、学術、産業功労各1人と、山陽新聞奨励賞の文化部門1人、社会部門2団体の計8人2団体の功績をたたえた。受賞者は喜びを語るとともに、さらなる精進を誓った。(1面関連)



### 教育功労

川崎医療福祉大学長

椿原 彰夫さん(68)

岡山市南区東畦

## 「医療福祉人」育てる



すべての教職員が医療福祉を総合的に考え、幅広い知識と技能を身に付けた「医療福祉人」を育成しようと、努めてきました。私は創設者である川崎祐宣先生の言葉を教職員に繰り返し伝えていきます。一つは「大いなる学は学生のためにある」、もう一つは「医療は患者のため



第80回山陽新聞賞の贈呈式で松田社長から賞状などを贈られる受賞者

### 第80回山陽新聞賞贈呈式

## 精進し地域に功績

### 末長さんら8人2団体

第80回山陽新聞賞の贈呈式が13日、岡山市北区駅元町のホテルグランヴィア岡山であり、文化功労3人、社会、教育、学術、産業功労各1人と山陽新聞奨励賞の文化部門1人、社会部門2団体の計8人2団体が表彰された。(5面に特集) 受賞者と来賓の伊原木隆太郎岡山市長、大森雅夫岡山市長、鍵本芳明県教育長、榎野博史岡山大学長、松田久典商工会議所連合会長、黒住宗晴黒住教名管教主、川崎明徳川崎学園名管理理事長、末光茂旭川荘理事長が出席した。松田正己山陽新聞社長が一人一人に賞状と日本芸術院会員蛭田二郎氏制作のメダル、賞金(山陽新聞賞50万円、奨励賞30万円)を贈り「それぞれの分野で地域社会に大きな功績を残され

ている。受賞を機に、これからますます活躍され、地域の発展に献身していただきたい」とあいさつ。来賓代表の伊原木知事は「並々ならぬ努力をされ、認められた方々。皆さまの活躍によってこの地域がもっと良くなることを祈念している」と祝福した。 受賞者を代表し、産業功労の前岡山県経営者協会会長末長範彦さん(75)岡山北區伊福町が「これからも賞に恥じないよう精進し、努力していきたい」と謝辞を述べた。 賞は地域社会への貢献や国際舞台での活躍が顕著な岡山、広島県などの個人、団体を顕彰し、山陽新聞社が毎年贈っている。昨年同様、新型コロナウイルス感染症防止のため、式後の懇談会を中止し、会場での検温や手指消毒などの対策を徹底して実施した。 他に受賞したのは次の皆さんと団体。(敬称略) 【文化功労】備前焼作家川端文男(73)備前市伊部▽建築家榎村徹(74)倉敷市徳芳▽書家藤川翠香(67)本名・成美、倉敷市児島下の町 【社会功労】精神科医、元岡山県精神保健福祉センター所長山本昌知(85)岡山市中区山崎 【教育功労】川崎医療福祉大学長椿原彰夫(68)岡山市南区東畦 【学術功労】岡山大特任教授前野詩朗(67)岡山市北区津高台 【奨励賞・文化部門】ピアニスト木口雄人(32)オーストリア・ウィーン(高梁市出身) 【同・社会部門】特定非営利活動法人あかね岡山北區関西町▽明王院を愛する会岡山草戸町(三宅信行)

さんデジに動画